

平成 25 年 3 月 4 日

各 位

会社名 石油資源開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡辺 修
コード番号 1662
問合先責任者 広報 IR 部長 三原 章司
電話番号 03-6268-7110

カナダ ブリティッシュ・コロンビア州における
シェールガス開発・生産プロジェクトおよび LNG プロジェクトへの参画について

石油資源開発株式会社(以下、当社)は、マレーシア国営石油会社である **Petroliam Nasional Berhad** (以下、**PETRONAS** 社) との間で、**PETRONAS** 社が推進するカナダ ブリティッシュ・コロンビア州のシェールガス開発・生産プロジェクトおよび同州西海岸で検討中の LNG (液化天然ガス) プロジェクトに参画することにつき、このほど、基本合意に至りましたので、お知らせいたします。

当社は、今般、新たに設立する子会社 **JAPEX Montney Ltd.** (カナダ法人) を通じ、同州ノース・モントニー地域におけるシェールガス鉱区の 10% 権益を取得するとともに、同州西海岸において、シェールガスを LNG 化し輸出する事業 (**Pacific Northwest LNG** プロジェクト、生産量 1,200 万トン/年) の 10% 権益と同権益比率相当の LNG (120 万トン/年) を引取る権利を併せて取得する予定です。

本プロジェクトのオペレーターである **PETRONAS** 社は、LNG 事業で豊かな経験を有しており、また、イラク共和国ガラフ油田における当社との共同事業者であります。**PETRONAS** 社は、今回当社が参入する鉱区において、既にシェールガスの開発、生産、販売を開始しています。上記のとおり、今後増産される予定のシェールガスは、新設されるパイプラインで同州西海岸プリンス・ルパートまで輸送され、LNG 化のうえ輸出される計画です。

当社は、本プロジェクトへの参画を通じ、競争力を持った LNG を、長期に亘り安定的に調達してまいります。輸入された LNG は、現在事業化調査中の相馬 LNG 受入基地とその接続パイプライン (2012 年 11 月 30 日ニュースリリース) や既存のパイプライン等のインフラと結びついて販売されることで、当社の収益基盤である天然ガスの一貫操業体制は、更に強固なものとなります。

また、カナダの豊富な天然ガスを LNG として輸入することは、我が国の LNG 調達先の多

様化などエネルギー需給改善の一翼を担うことに繋がります。

なお、当社が本プロジェクトへ参画するにあたっては、今後 PETRONAS 社との正式契約の締結および権益移転に係るカナダ政府の承認取得が必要となります。

以 上

<補足情報>

1. シェールガス開発・生産プロジェクト（上流）の概要

鉱区所在地 : カナダ ブリティッシュ・コロンビア州ノース・モントニー地域
オペレーター : PETRONAS 社
現況 : 天然ガスを生産し、AECO 市場^{※1}にて販売中

※1 AECO（エイコ）市場＝西カナダにおける主要ガス市場

2. LNG プロジェクト（中流）の概要

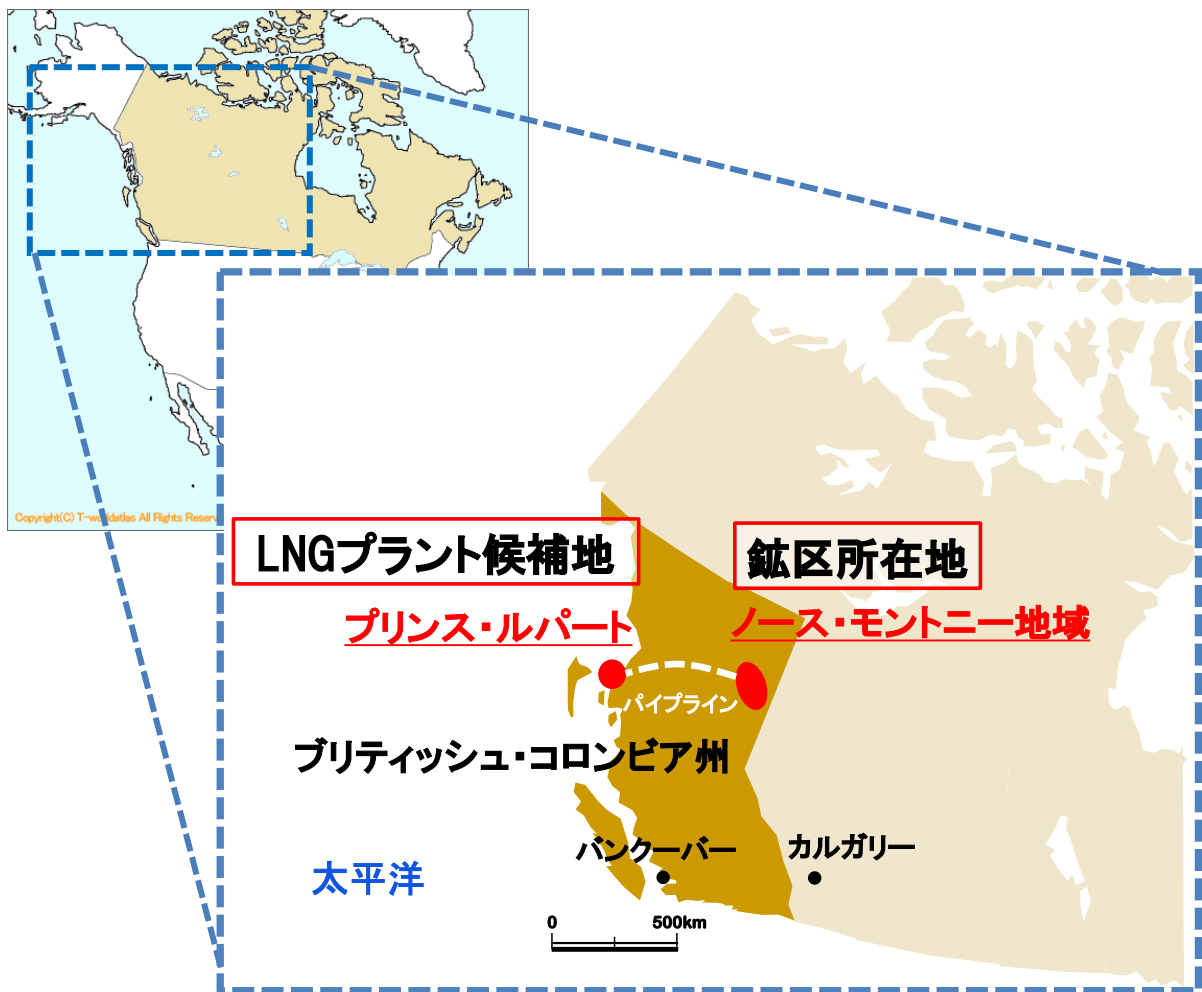
プラント候補地 : カナダ ブリティッシュ・コロンビア州プリンス・ルパート レルー島
オペレーター : PETRONAS 社
LNG 生産量 : 年産 1,200 万トンを予定^{※2}
現況 : 設備基本設計を実施中
最終投資決定（FID） : 2014 年末を予定^{※2}
生産開始 : 2018 年末を予定^{※2}

※2 オペレーター公表に基づく

3. 新会社の概要

会社名 : JAPEX Montney Ltd.（カナダ アルバータ州法人）
所在地 : カナダ アルバータ州カルガリー
代表 : 渡辺 修（石油資源開発(株)社長）
設立時期 : 2013 年 3 月
株主構成 : 当社 100%（設立時）

<プロジェクト位置図>

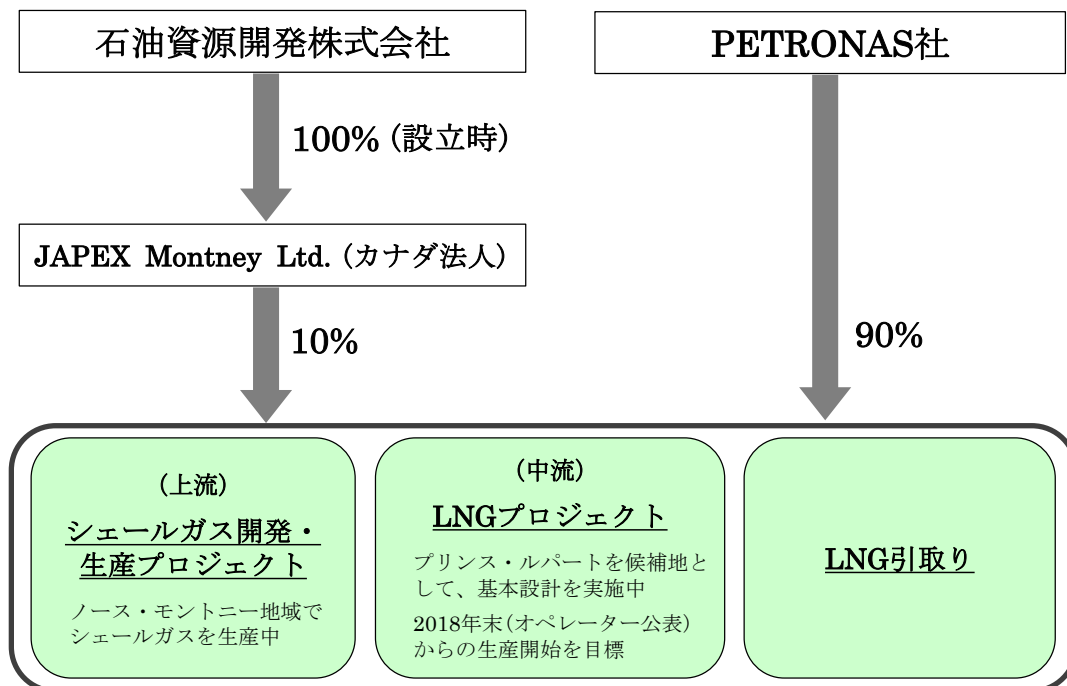


<LNG プラント候補地イメージ図>



出所：Pacific Northwest LNG (<http://pacificnorthwestlng.com/>)

<プロジェクトストラクチャー>



上流、中流、LNG引取りの一体運営によりプロジェクトの安定的な推進が可能